

時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報には毎號詳細なる商況物價の報告あり

時事新報の特派員

朝鮮東學黨の内亂は追々其勢力を増して今は同政府も容易に討平する能はざるのみならず暴徒は諸要地を占領して既に京城を距る二十有餘里の地に迫りたりと云ふ事態頗る様がならざるを以て本社は八重山船に便乗を請ひ特に社員高見龜氏を朝鮮に派遣したり本社は豫て京城に派遣しある通信者にも特に照會する所あり且つ特派員も既に出發したる事なれば今後東上に躍出すべし尙ほ騷亂の模様に依りては引續き社員の特派を要すべきを以て本社は豫め部署を定め後報の到るを待つ

更に一名の特派員

今朝鮮東學黨の變亂に乘じ清國は大軍を派遣するなれど本社は更に社員を特派遣送したり高見氏は京城仁川の間に在りて報道に從事する筈なれば清軍の戰地に於ける運動、東學黨變亂地の實況は親しく之を以て山崎知遠、石川信の兩氏を派遣したり高見氏は京城仁川の間に在りて報道に從事する筈なれば清軍の戰地に於ける運動、東學黨變亂地の實況は親しく之を以て山崎知遠、石川信の兩氏を派遣したり高見氏

朝鮮内地へ特派

本社は朝鮮の警報に接するや直ちに高見龜氏を同國に特派し尋ねて廣嶺馬關の兩地にも特派員を置くの要あるを以て山崎知遠、石川信の兩氏を派遣したり高見氏

更に一名の特派員

本社は朝鮮の警報に接するや直ちに高見龜氏を同國に特派し尋ねて廣嶺馬關の兩地にも特派員を置くの要あるを以て山崎知遠、石川信の兩氏を派遣したり高見氏

我兵の操練に就き

朝鮮内地の爲め派遣せられたる我軍兵は不日京城の邊に於て操練す可しと云ふ東洋無比の操練以て清韓兩國人は勿論西洋諸外國人にも日本の兵威を目指せしめて其睡眼を醒かせるは洵に一快事に相違なけれども此種の操練は必ずしも今日早々急ぐに及ばず萬事落着して萬事に我兵を別揚げんとするの際、最後の名残りとして我居留民を保護せんとするには之を京城一里的外に改め其軍勢を分ちて目下清兵の駐留せる牙山の邊に進軍せしむるとぞ望む者なり今夫れ東學黨に對するも保証なるのみ否一里の外に於てするは十里の外に於てするの安全なるに如かざる可し顧ふに清兵が初めより

時事新報

時事新報

時事新報

時事新報

官報

官報

官報

○大藏省告示第二十二號
支局ニ於テ内地ノ受取方ヲ止ム此旨告示ス
大藏省告示第二十二號
太政官第十五號布達(明治十六年五月二十六日抄錄)
第二條 非常ノ事アリテ休業スルトキハ速ニ其旨ヲ布達シ金受取方ヲ止ム可シ

本篇は第三高等中學校監督師英人シャーレ氏が文部大臣閣下裏に閣下閣の際辱く與見を繳せらる。故に往來通信の便を欠く少しだけせず往年朝鮮に事ありし時馬關と釜山 我の朝鮮に於ける僅に一毫帶水を隔つて過去八年間に於ける余の慎重なる觀察と教授上の経験とに基き左に陳述する所あらんとす

(一)日本の學生が教育の利便を得んとするに熱心なるの點に就ては余が本國の學生と異ならざるのみならず開々其上に出るものあり然りと雖も亦多少欠點なき能はず今茲に之を吐露せん

本篇は第三高等中學校監督師英人シャーレ氏が文部大臣閣下裏に閣下閣の際辱く與見を繳せらる。故に往來通信の便を欠く少しだけせず往年朝鮮に事ありし時馬關と釜山 我の朝鮮に於ける僅に一毫帶水を隔つて過去八年間に於ける余の慎重なる觀察と教授上の経験とに基き左に陳述する所あらんとす

(二)日本の學生は又皮相の知識を以て容易く満足するが故に往々の書籍又は一の項目を再讀再調するのみ好まず其了解不充分なるに拘らず却て通曉したりと思惟するの弊あるを免れず

(三)前項の結果として日本の學生は授業の方式に於て是れの觀わり夫の正確適質なる教授は高等なる學科を修むるの基礎を置くが爲に必要なものにして學生たるもの猶之を認識せず

本篇は第三高等中學校監督師英人シャーレ氏が文部大臣閣下裏に閣下閣の際辱く與見を繳せらる。故に往來通信の便を欠く少しだけせず往年朝鮮に事ありし時馬關と釜山 我の朝鮮に於ける僅に一毫帶水を隔つて過去八年間に於ける余の慎重なる觀察と教授上の経験とに基き左に陳述する所あらんとす

文部大臣閣下裏に閣下閣の際辱く與見を繳せらる。故に往來通信の便を欠く少しだけせず往年朝鮮に事ありし時馬關と釜山 我の朝鮮に於ける僅に一毫帶水を隔つて過去八年間に於ける余の慎重なる觀察と教授上の経験とに基き左に陳述する所あらんとす

(四)日本の學生は政治を論議し又其意見を陳述するの能を有するものと思惟し極く政治問題に喙を容れ断定を下し及他人をして其説に従はしめんとするが如き傾向あり而して適當に政治問題を論議せんに思は世故閱歷を要するふと頼みざるなり

(五)小學校及中學校の生徒は早く已に法律、文學、醫學、理學の如き高等專門の學術を擧擧するの志望を有すと雖彼等は國の富庶繁榮は商業及製造事業の發達如何に關するものたるを記憶し其職業に從事するの準備を爲すを以て満足せざるが如し

(六)學科課程中をして科目多きに過ぐるふとなき余は今英語教授の件に關し左に節記を述ぶ

(一)少年の時に於ては發音機柔軟なるを以て特に初級生の發音に注意するを要す蓋し初學の際發音に習

熱するとき
嫌惡するが
むるふとを
徒の爲に大
と有するを
於ける英文
しむるを要

(二)文部省
書は文體の
も英語教授
本は質良
生徒の視力
を申するを

野戰首砲廠
常市阿彌陀寺町 極樂寺内
貨物倉庫 同上 茶勸

明治廿七年六月廿三日 土曜日
舊居甲午五月二十日(丙申)
日出午前四時二十七分
月出午前八時二十八分
浦瀬午前九時二十九分
(西曆一千八百九十四年)

年末より
百七十四日
(西曆一千八百九十四年)

野戰首砲廠 常市阿彌陀寺町 極樂寺内
貨物倉庫 同上 茶勸

熱するとき
嫌惡するが
むるふとを
徒の爲に大
と有するを
於ける英文
しむるを要

(二)文部省
書は文體の
も英語教授
本は質良
生徒の視力
を申するを

野戰首砲廠
常市阿彌陀寺町 極樂寺内
貨物倉庫 同上 茶勸

熱するとき
嫌惡するが
むるふとを
徒の爲に大
と有するを
於ける英文
しむるを要

(二)文部省
書は文體の
も英語教授
本は質良
生徒の視力
を申するを

野戰首砲廠
常市阿彌陀寺町 極樂寺内
貨物倉庫 同上 茶勸